

富士ソフトABC株式会社

決算説明会

2006年5月18日

代表取締役会長兼社長
野澤 宏





会社概要

名称：**富士ソフトABC株式会社**

(FSIABC:FujiSoft ABC Inc.)

東証一部上場 証券コード番号9749

本社：〒231-8008

神奈川県横浜市中区桜木町1-1

設立：1970年5月15日

資本金：26,200百万円(2006年3月31日現在)

社員数：9,415名(連結：2006年3月31日現在)



富士ソフトABCグループ概要

連結子会社	・・・	13社
持分法適用会社	・・・	3社
	計	<u>16社</u>

新規参入子会社

05.4 (株)ケイ・ジー・ティー …… CAE・ネットワークソリューションサービス事業
(2005年度実績 売上高 2,795百万円 経常利益 108百万円)

05.8 (株)プラメディア…… CAEソリューションサービス事業
(2005年度実績 売上高 187百万円 経常利益 Δ21百万円)

※持分法適用会社、エース証券(株)につきましては、
2005年度下期よりの連結対象となっております。

富士ソフトABCグループ概要





06／3月期トピックス

<経営トピックス>

- 05／4月 ・開発プロセス標準ワークフロー策定
- 06／4月 ・法律研修会スタート(営業・技術・管理スタッフ向け)
- 05／6月 ・開発プロセス標準ワークフロー研修会を全国で実施
- 06／4月 ・ITおよびシステムの両本部に事業部制導入

<グループトピックス>

- 05／8月 ・エース証券株式会社へ資本参加
- 05／7月 ・ブレインセラーズ・ドットコム株式会社へ資本参加
- 05／11月 ・産官学連携のベンチャー企業「パルスイムノテック株式会社」へ資本参加
- 05／12月 ・連結子会社「ヴィンキュラム ジャパン株式会社」ジャスダック証券取引所へ上場

<重点ソリューション>

- 05／6月 ・高速データ検索集計ツール「軽技(かるわざ)Web Super」バージョンアップ版発売
- 05／6月 ・高速データ処理エンジン「FSSQL」シリーズ発表
- 05／10月 ・病院経営支援システム「FS HosPack経営」販売開始

<その他>

- 05／9月 ・ベストセラーはがき印刷ソフト“筆ぐるめVer. 13”発売
- 06／3月 ・第1回日本版SOX法対策セミナー開催



07/3月期トピックス

06/7月 社名変更

(7月1日より「富士ソフト株式会社」へ社名変更いたします)

- エンドユーザー向けサービスの強化・PRのため、社名をシンプルにし、新規事業の創出を図ります。
- ビジネスモデルの刷新を行い、第二の創業と位置づけ、新生「富士ソフト」がスタートします。

07/1月 秋葉原ビル(仮称)竣工予定

- 再開発が進む秋葉原駅周辺の将来性や利便性など優れた立地特性を最大限に活用。
- ITの発信基地としての秋葉原にふさわしい最先端のデジタルスタジオ等を設置します。
- 当社のシンボルタワー的な位置づけとして、ブランドイメージ向上などにつなげて参ります。



秋葉原ビル(仮称)完成予想図

06/3月期の 決算概況を 説明致します



06 / 3月期 (連結)業績





06/3月期（連結）通期業績

（単位：百万円）

	06/3	05/3	増減	前年比	予想比
売上高	179,505	166,644	12,861	107.7%	96.2%
営業利益 (利益率)	12,078 (6.7%)	10,945 (6.6%)	1,132 (0.1%)	110.3%	97.4%
経常利益 (利益率)	12,013 (6.7%)	10,951 (6.6%)	1,061 (0.1%)	109.7%	98.1%
当期利益 (利益率)	4,938 (2.8%)	5,336 (3.2%)	△398 (△0.4%)	92.5%	87.4%
1株当たり 当期利益	129円46銭	139円79銭	△10円33銭	92.6%	84.9%
ROE	6.1%	6.8%	△0.7%	—	—

※予想比は、平成17年11月10日の公表数値との比較を記載しております。



06 / 3月期（連結）通期業績変動要因 （前年比較）

○主な売上高変動要因 →→→ 前年度差 +12,861百万円

売上高は、物品販売の売上減少はあったものの、主力の制御系ソフト開発などが順調に推移し、対前年比12,861百万円増となりました。

1. 増加要因

・ソフトウェア開発事業	
制御系（通信系、機械制御系の増加）	9,782 百万円
業務系（流通系は減少するも金融系増加）	789 百万円
サイバネットシステムの売上増	2,943 百万円
・アウトソーシング事業	
システム保守・運用の増加	3,209 百万円
	計 16,723 百万円

2. 減少要因

・物品販売の減少	△5,278 百万円
----------	------------

○主な営業利益変動要因 →→→ 前年度差 1,132百万円

人件費などの増加により販管費は増加するものの、制御系ソフト開発の好調などに支えられ、利益率は0.1ポイント良化いたしました。

1. 売上総利益の増加(プラス要因)

・ソフト開発事業(制御系)	2,133	百万円
・アウトソーシング事業(システム保守・運用)	447	百万円
・ソリューションサービス(物販利益率改善)	499	百万円

計 3,079 百万円

2. 販管費の増加(マイナス要因)

・人件費(営業／管理スタッフの増強)	1,114	百万円
・広告宣伝費、販売促進費	355	百万円
・採用費	274	百万円
・租税公課(不動産取得税:秋葉原、仙台)	142	百万円
・事務委託費(基幹システム要員)	599	百万円
・連結調整勘定(のれん代償却) (TCS半期分、サイバネット子会社分)	126	百万円

計 2,610 百万円

○主な当期利益変動要因 →→→ 前年度差 ▲398百万円

営業利益は、前年を1,132百万円上回ったものの、当期利益は下記の理由により、対前年比△398百万円(△7.5%)となりました。

1. 特別利益

・「生命保険解約払戻金」の増加	1,183	百万円
・「持分変動差益(VJC増資)」の増加	328	百万円
・「厚生年金基金制度変更に伴う一時金 精算益」の発生	△186	百万円
	計	1,325 百万円

2. 特別損失

・「仕掛品処分損」の発生	△2,648	百万円
--------------	--------	-----

○ 受注状況（ソフト開発）

受注高

＜決算短信のP28をご参照下さい＞

（単位：百万円）

06/3	05/3	前年比	増減
99,146	101,475	97.7%	△2,329

＜受注高への影響額＞

- ・仕掛品処分損の影響 約26億円
- ・受注計上厳格化の影響 約85億円

○ 07/3月期 主な販売管理費変動要因

今期決算には下記の支出を見込んでおります。

- ・社名変更費用として、約4億円
- ・秋葉原ビルへの移転費用として、約10億円



06 / 3月期 連結子会社通期業績

(単位：百万円)

	売上高		経常利益			当期利益		
		前年比		利益率	前年比		利益率	前年比
富士ソフトABC	102,092	103.1%	5,925	5.8%	93.6%	2,817	2.8%	71.9%
サイバネットシステム	17,399	124.6%	2,548	14.6%	97.4%	1,502	8.6%	99.4%
富士ソフトDIS	28,786	90.6%	1,485	5.2%	93.7%	1,327	4.6%	96.2%
ヴィンキュラムジャパン	12,605	117.7%	873	6.9%	135.0%	582	4.6%	139.0%
サイバーコム	6,965	129.1%	488	7.0%	122.1%	284	4.1%	117.7%
富士ソフトKCS	5,322	112.8%	497	9.3%	109.8%	301	5.7%	110.6%
富士ソフトABCサービスビューロ	4,436	115.7%	105	2.4%	440.5%	56	1.3%	468.2%
OA研究所	2,731	110.4%	45	1.7%	90.7%	16	0.6%	55.5%
富士ソフト企画	2,052	105.0%	31	1.5%	80.5%	18	0.9%	81.3%
日本ビジネスソフト	781	100.5%	39	5.0%	125.2%	22	2.9%	118.9%
富士ソフトSSS	763	130.8%	62	8.2%	146.7%	36	4.8%	145.2%
東証コンピュータシステム	7,938	209.2%	1,578	19.9%	324.0%	436	5.5%	290.0%

※1 連単倍率 … 売上高 1.76倍 当期利益 1.75倍

※2 連結子会社 … 13社(サイバネットシステム子会社2社含む)



06/3月期（連結）通期分野別売上高

（単位：百万円）

		06/3		05/3	増減	前年比	
			構成比				
ソフトウェア開発関連事業	制御系	通信系	37,775	21.0%	30,184	7,590	125.1%
		その他	20,117	11.2%	17,925	2,192	112.2%
		計	57,893	32.3%	48,110	9,782	120.3%
	業務系	金融系	15,143	8.4%	13,909	1,233	108.9%
		流通系	11,497	6.4%	12,253	△755	93.8%
		製造業系	5,184	2.9%	5,019	165	103.3%
		官公庁・公共系	2,276	1.3%	2,021	255	112.6%
		医療系	1,225	0.7%	1,609	△383	76.1%
		その他	5,997	3.3%	5,722	274	104.8%
		計	41,324	23.0%	40,535	789	101.9%
	その他	10,243	5.7%	7,299	2,943	140.3%	
	合計		109,460	61.0%	95,945	13,515	114.1%



06 / 3月期 (連結)

通期分野別売上高

(単位：百万円)

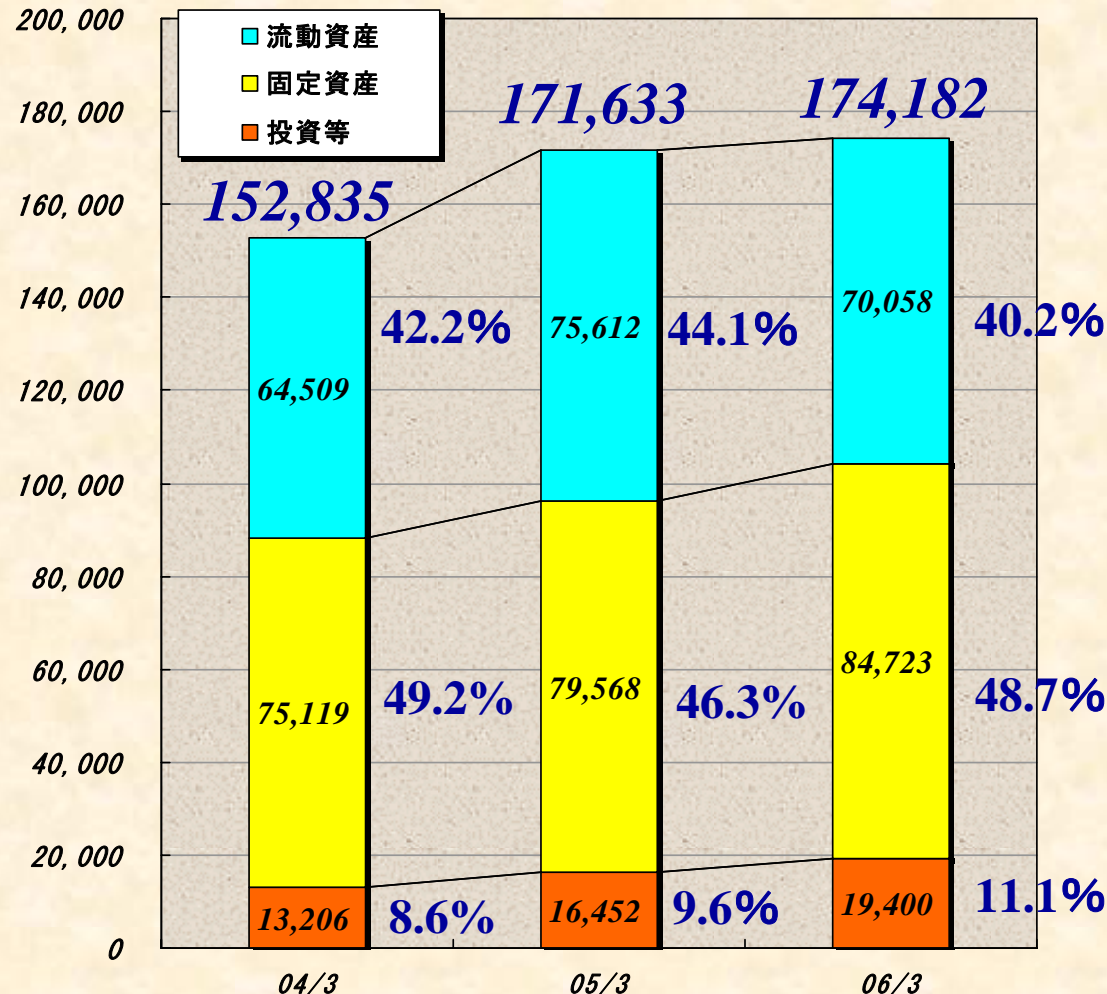
		06/3		05/3	増減	前年比
			構成比			
アウトソーシング事業	システム保守・運用	32,119	17.9%	28,910	3,209	111.1%
	調査・コンサルティング・技術支援	4,096	2.3%	3,630	466	112.9%
	オフィスサービス	3,870	2.2%	3,943	△73	98.1%
	その他	482	0.3%	416	65	115.7%
	計	40,569	22.6%	36,901	3,667	109.9%
ソリューションサービス事業	物品販売	20,327	11.3%	25,606	△5,278	79.4%
	その他	9,033	5.0%	8,117	916	111.3%
	計	29,361	16.3%	33,723	△4,362	87.1%
その他事業		115	0.1%	75	40	153.8%
合計		70,045	38.9%	70,699	△653	99.0%

総合計	179,505	100.0%	166,644	12,861	107.7%
-----	----------------	---------------	----------------	---------------	---------------

連結 総資産推移

(百万円)

※青字は構成比を表示しております。(%)



流動資産

現金預金	+1,784
売上債権	△2,637
たな卸資産	△4,374
(うち仕掛品)	△4,267

固定資産

秋葉原ビル	+6,400
データセンター設備	+875

投資等

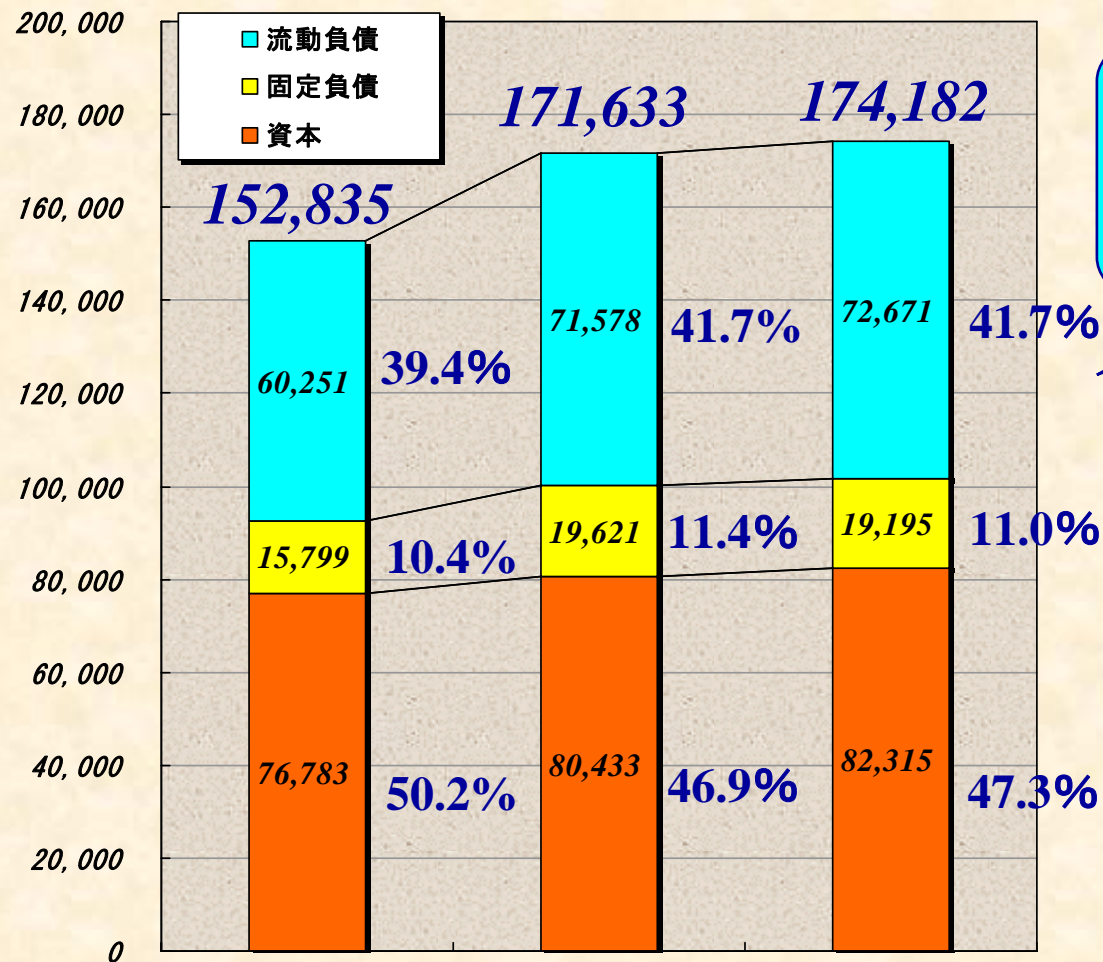
投資有価証券	+6,989
(うちエース証券)	+3,948

流動比率	107.1	105.6	96.4	(%)
固定比率	115.0	119.4	126.5	
総資産前年比	114.7	112.3	101.5	

連結 負債・資本推移

(百万円)

※青字は構成比を表示しております。(%)



流動負債

買掛金等の減少 $\Delta 2,939$
 短期借入金増加 $+1,049$
 未払法人税等の増加 $\Delta 1,666$

固定負債

長期借入金の減少 $\Delta 2,330$

株主資本

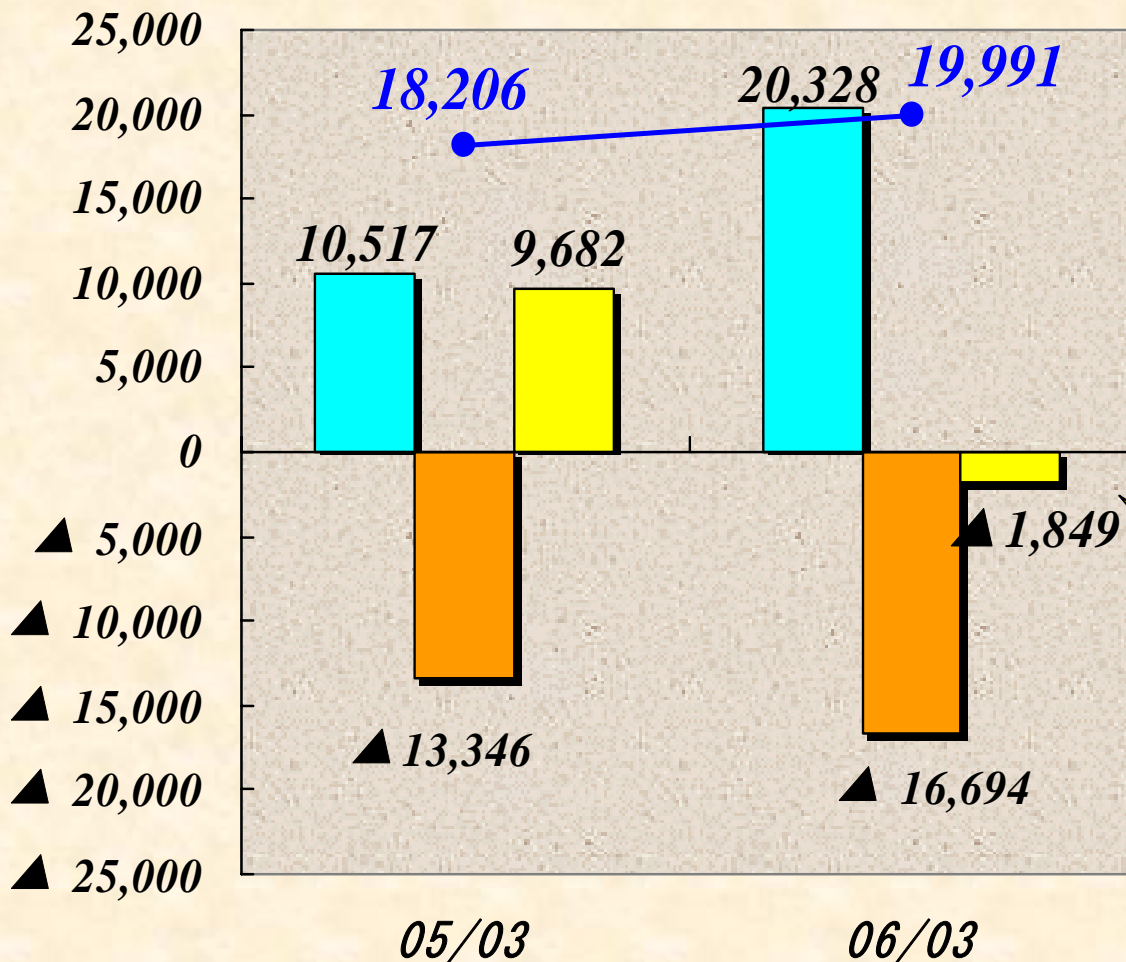
利益剰余金の増加 $+4,077$

	04/3	05/3	06/3	(%)
借入金比率	20.8	24.8	23.7	
株主資本比率	50.2	46.9	47.3	

(少数株主持分は固定負債に含めて表示しております。)

06 / 3期 連結キャッシュフロー状況

(百万円)



営業活動

売上債権の増減	+3,174
仕入債務の増減	△3,387
たな卸資産の増減	+4,803
法人税等の支払	△3,108

投資活動

有形固定資産の取得による支出	△8,814
投資有価証券の取得による支出	△4,237

財務活動

借入金の返済	△1,700
--------	--------

■ 営業活動
 ■ 投資活動
 ■ 財務活動
 ● 期末残高

今期目標と戦略





今期経営方針



雷鳴とどろきわたる
経営改革の続行



～拡大から質向上への転換～



07/3月期（連結）通期業績予想

（単位：百万円）

	07/3	06/3	増減	前年比
売上高	185,000	179,505	5,495	103.1%
営業利益 (利益率)	12,400 (6.7%)	12,078 (6.7%)	322 (—)	102.7%
経常利益 (利益率)	12,500 (6.8%)	12,013 (6.7%)	487 (0.1%)	104.1%
当期利益 (利益率)	6,200 (3.4%)	4,938 (2.8%)	1,262 (0.6%)	125.6%
1株当たり 当期利益	167円32銭	129円46銭	37円86銭	129.2%
ROE	7.5%	6.1%	1.4%	—



07 / 3月期 連結子会社通期業績

(単位：百万円)

	売上高		経常利益			当期利益		
		前年比		利益率	前年比		利益率	前年比
富士ソフトABC	110,000	107.7%	6,356	5.8%	107.3%	3,484	3.2%	123.7%
サイバネットシステム	20,200	116.1%	2,700	13.4%	106.0%	1,565	7.7%	104.2%
富士ソフトDIS	24,650	85.6%	1,360	5.5%	91.6%	1,353	5.5%	101.9%
ヴァンキュラムジャパン	14,150	112.3%	990	7.0%	113.4%	600	4.2%	103.0%
サイバーコム	8,010	115.0%	541	6.8%	110.8%	306	3.8%	107.5%
富士ソフトKCS	5,400	101.5%	450	8.3%	90.6%	259	4.8%	85.9%
富士ソフトABCサービスビューロ	4,824	108.7%	241	5.0%	229.2%	132	2.7%	233.6%
OA研究所	2,703	99.0%	135	5.0%	299.7%	75	2.8%	444.9%
富士ソフト企画	1,873	91.3%	25	1.4%	82.4%	16	0.9%	87.5%
日本ビジネスソフト	772	98.9%	40	5.2%	102.9%	25	3.3%	111.7%
富士ソフトSSS	785	102.9%	56	7.2%	90.7%	32	4.2%	89.7%
東証コンピュータシステム	5,764	72.6%	9	0.2%	0.6%	5	0.1%	1.3%

※1 連単倍率 … 売上高 1.68倍 当期利益 1.78倍

※2 連結子会社 … 13社(サイバネットシステム子会社2社含む)



07 / 3 月期 (連結)

通期分野別売上高

(単位 : 百万円)

		07/3		06/3	増減	前年比	
			構成比				
ソフトウェア開発関連事業	制御系	通信系	43,399	23.5%	37,775	5,623	114.9%
		その他	23,000	12.4%	20,117	2,883	114.3%
		計	66,400	35.9%	57,893	8,506	114.7%
	業務系	金融系	14,829	8.0%	15,143	△314	97.9%
		流通系	10,883	5.9%	11,497	△614	94.7%
		製造業系	5,206	2.8%	5,184	22	100.4%
		官公庁・公共系	2,289	1.2%	2,276	12	100.6%
		医療系	1,233	0.7%	1,225	8	100.7%
		その他	6,007	3.2%	5,997	10	100.2%
		計	40,450	21.9%	41,324	△ 874	97.9%
	その他	10,000	5.4%	10,243	△ 243	97.6%	
	合計		116,850	63.2%	109,460	7,389	106.8%



07 / 3月期 (連結)

通期分野別売上高

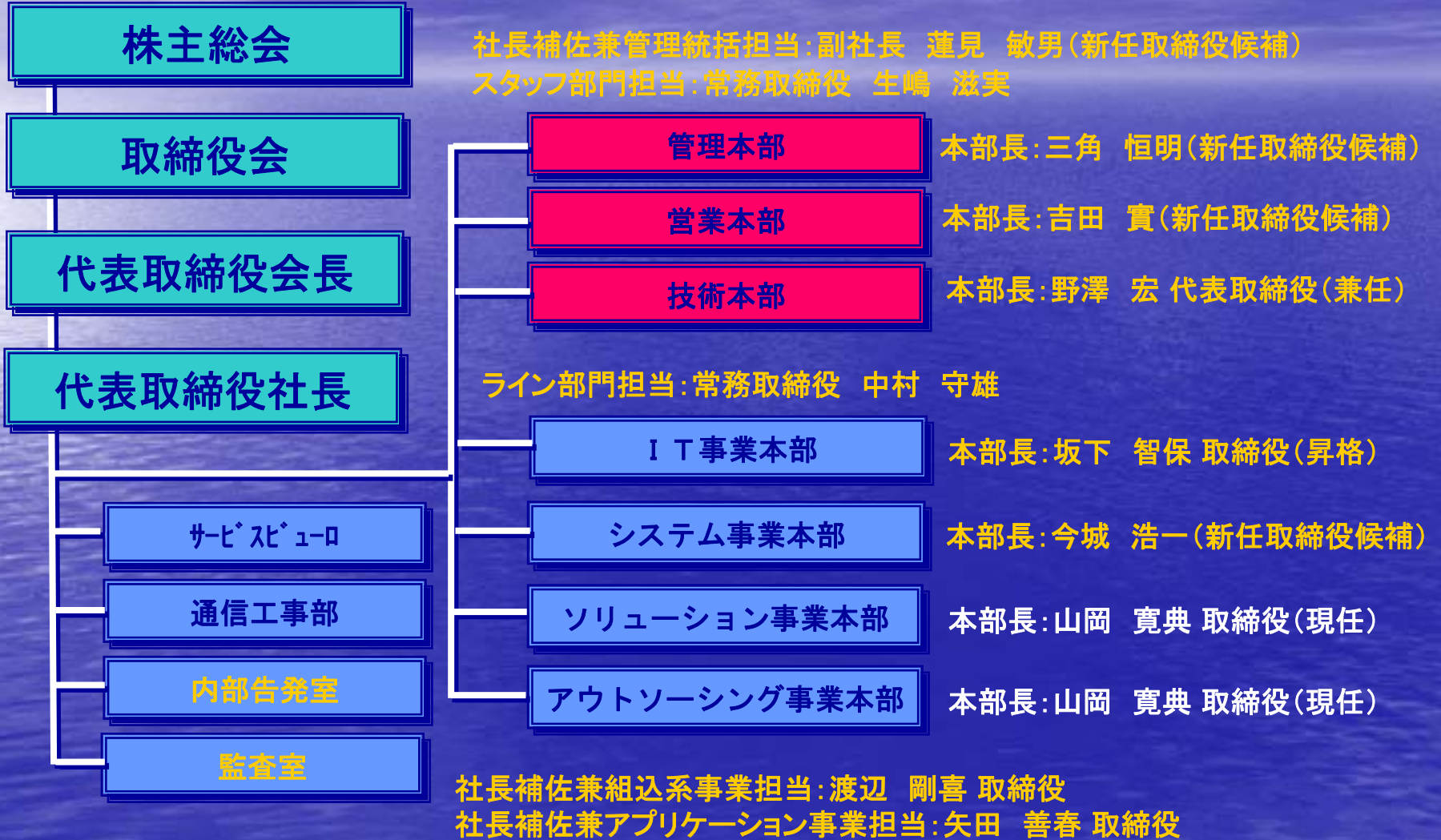
(単位：百万円)

		07/3		06/3	増減	前年比
			構成比			
アット ソーシング 事業	システム保守・運用	32,341	17.5%	32,119	221	100.7%
	調査・コンサルティング・技術支援	4,193	2.3%	4,096	97	102.4%
	オフィスサービス	3,956	2.1%	3,870	85	102.2%
	その他	508	0.3%	482	26	105.4%
	計	41,000	22.2%	40,569	430	101.1%
ソリューション サービス 事業	物品販売	18,750	10.1%	20,327	△1,577	92.2%
	その他	8,300	4.5%	9,033	△733	91.9%
	計	27,050	14.6%	29,361	△2,311	92.1%
その他事業		100	0.1%	115	△15	86.6%
合 計		68,150	36.8%	70,045	△1,895	97.2%

総 合 計	185,000	100%	179,505	5,495	103.1%
-------	----------------	-------------	----------------	--------------	---------------



組織体制





制御系ソフト開発分野

業界環境は活況。リスク要因は人材の確保のみ。

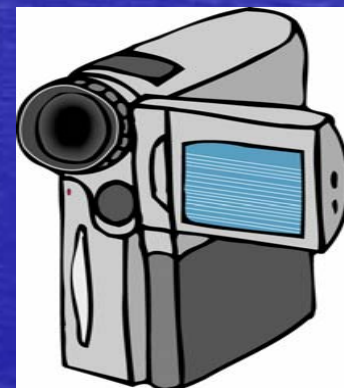
【通信制御系】

- 11/1からナンバーポータビリティ制度のスタート
 - 複数キャリアに機種投入(端末数増加)
 - 専用端末化が進む(シルバー/キッズ向け)
 - 評価作業増
- その後も地デジ、データ高速化対応等、好調維持
- 新規キャリア向け対応



【機械制御系】

- 工作機械 ロボットが好調維持
- 事務機器(複合機) 海外向けが好調
- デジタル家電 デジタルチューナーが主力 海外メーカーに対応強化
- 自動車関係 ECU、カーナビ関連好調



➡ 売上／利益とも二桁増を目指す



業務系ソフト開発分野



業界環境は、全般的に好転。

徹底して不採算案件の撲滅

■受託型ビジネス

- ・金融系中心に拡大基調
(銀行・証券・生損保・ノンバンク)
システム投資へ積極姿勢
→ 受注拡大へ

■エンドユーザー向け強化

- ・金融系・流通系は、FSIグループでの
アライアンスを強化
・製造業等では、中堅クラスを拡大
→ 受注拡大へ

選別受注強化



利益重視



アウトソーシング事業分野



各種法規制強化も追い風

■保守／運用ビジネス

- 持たざる経営を強かにバックアップ
- アライアンス強化(グループ内)

■セキュリティビジネス

- 当社の独自開発技術を武器に
- 個人情報保護関連を核に
- 金融／サービス関連拡大

■データ保管ビジネス

- 新会社法/JSOX法等の施行
- 大量データの保管/検索が必要
- 電子文書保管や原本保存業務

■行政機関/産官学連携の受け皿ビジネス

- コールセンター業務受託
- アウトソーシング受託

単年度黒字化へ (単体)

ソリューション事業分野



ソリューション提案型ビジネスを確立へ

■セキュリティビジネス

- 入退館
- 暗号技術
- 監視カメラ



■映像配信ビジネス

- ストリーミング配信
- 著作権ビジネス
- オンラインショッピング



■病院系ビジネス

- 経営支援
- 物流管理
- コンサル～トータルSIまで



■リテール金融ビジネス

- 業法改正による上限金利引下げ
- コスト削減必須
- 共同利用型センター構築着手

売上高倍増目指す

中期経営目標と戦略





中期経営目標（連結）

（単位：百万円）

	07/3 (予想)	08/3 (計画)	09/3 (計画)
売上高 ＜前年比＞	185,000 ＜103.1%＞	200,000 ＜108.1%＞	220,000 ＜110.0%＞
営業利益 (利益率)	12,400 (6.6%)	14,000 (7.1%)	17,500 (8.0%)
経常利益 (利益率)	12,500 (6.7%)	14,000 (7.1%)	17,500 (8.0%)
当期利益 (利益率) ＜前年比＞	6,200 (3.5%) ＜125.6%＞	8,000 (3.9%) ＜129.0%＞	10,000 (4.5%) ＜125.0%＞
1株当たり 当期利益	167円 32銭	215円 90銭	269円 87銭



(連結) 通期分野別売上高目標

(単位：百万円)

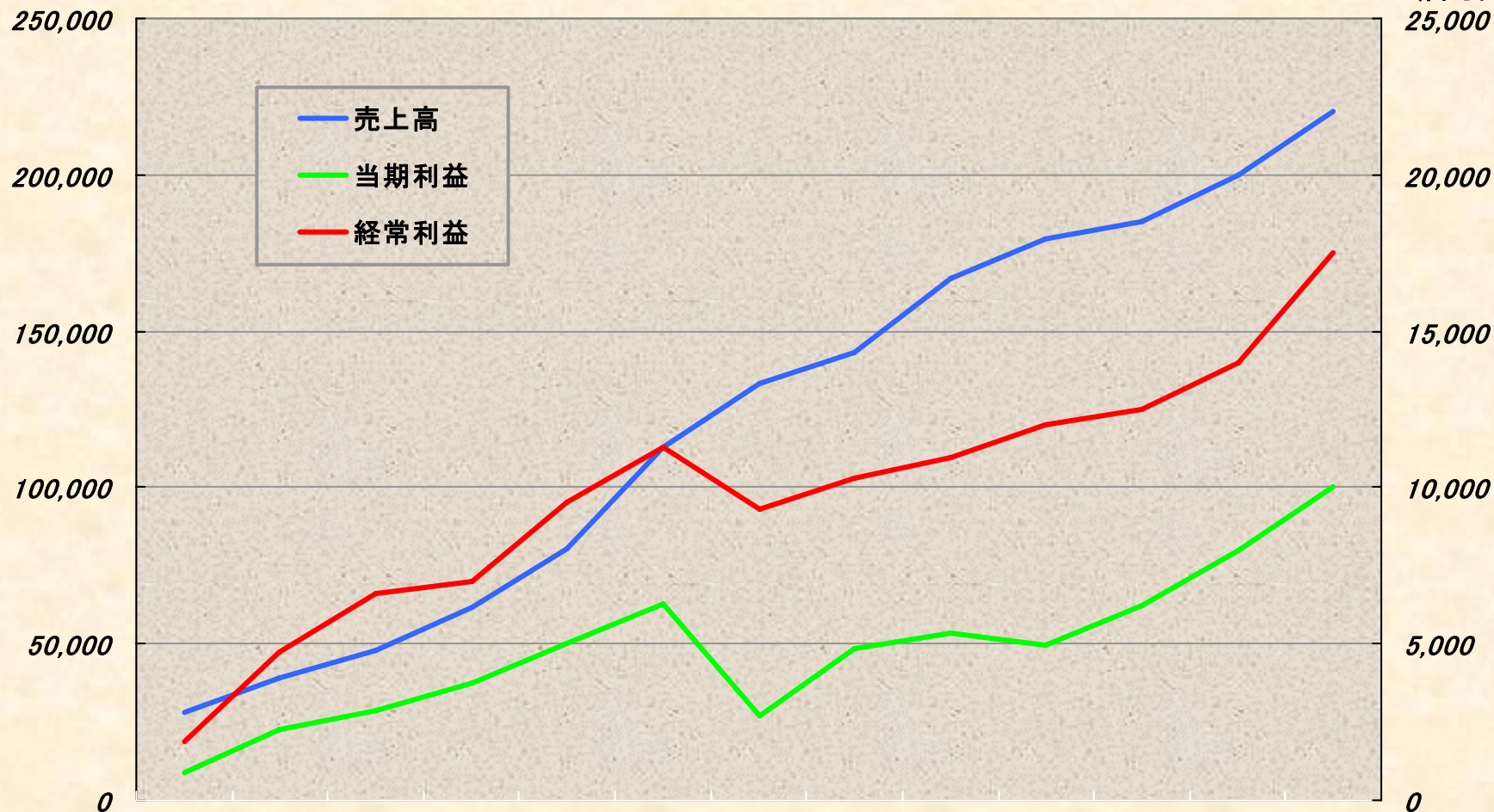
		07/3 (予)	08/3(計画)			09/3(計画)		
				構成比	前年比		構成比	前年比
ソフトウェア 開発事業	制御系	66,400	75,480	37.7%	113.7%	85,300	38.8%	113.0%
	業務系	40,450	41,300	20.7%	102.1%	43,400	19.7%	105.1%
	その他	10,000	10,500	5.3%	105.0%	11,000	5.0%	104.8%
	計	116,850	127,280	63.6%	108.9%	139,700	63.5%	109.8%
アウトソーシング事業		41,000	46,020	23.0%	112.2%	53,500	24.3%	116.3%
ソリューション サービス事業	物品販売	18,750	18,100	9.1%	96.5%	18,000	8.2%	99.4%
	その他	8,300	8,500	4.3%	102.4%	8,700	4.0%	102.4%
	計	27,050	26,600	13.3%	98.3%	26,700	12.1%	100.4%
その他		100	100	0.1%	100.0%	100	0.0%	100.0%
合計		185,000	200,000	100.0%	108.1%	220,000	100.0%	110.0%



(連結) 業績推移

売上高
(百万円)

経常利益
当期利益
(百万円)




ROE


97/3 7.8 98/3 13.2 99/3 9.0 00/3 8.7 01/3 10.6 02/3 10.6 03/3 3.9 04/3 6.5 05/3 6.8 06/3 6.1 07/3 7.0 (予) 08/3 8.5 (計) 09/3 9.4 (計)



中期経営戦略



高収益事業構造への
経営改革



～第二の創業期～

1. 経営改革のさらなる推進

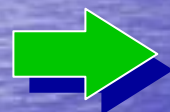
~経営管理力の強化~

●経営管理力・業績管理力の強化



人材強化・ワークフロー見直し・新基幹システム構築など

●グループアライアンスによる総合力強化



ゆるやかな連携から強固な連携へ

●グローバル戦略強化(海外を視野に)

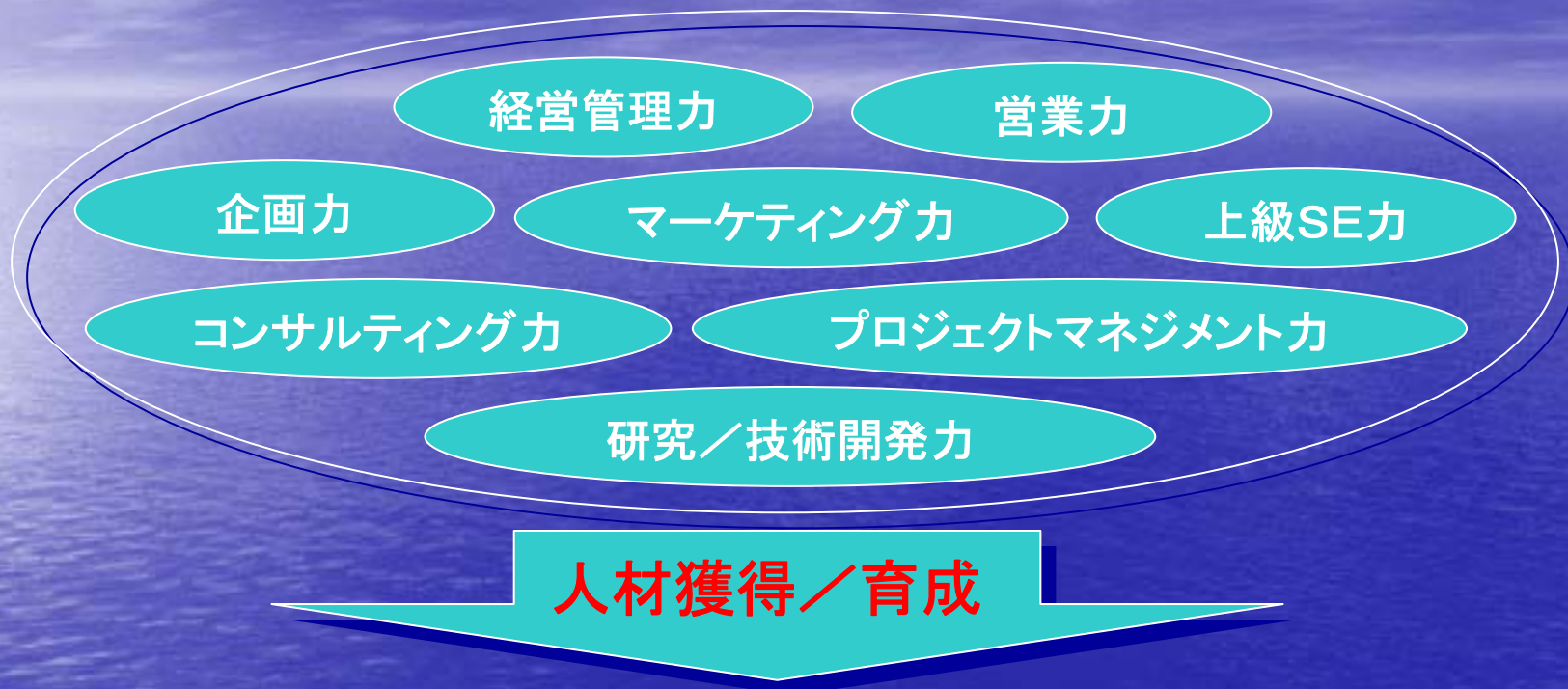


海外進出／外国企業との取引拡大

●コンプライアンスの徹底遵守

2. ビジネスモデルの刷新

~高付加価値ビジネスへの転換



新規事業開発

高収益体制

高品質サービス

3. ソフトウェア生産性向上 及び開発技法確立

～低コストへの対応力向上～

設計・開発手法の見直し

徹底した部品化再利用

パッケージ流用

ソフトウェア
生産革命

ツール活用

FS Framework構築

4. 新技術の研究開発強化及び圧倒的優位性のある商品とサービスの開発

● 研究開発体制を強化

- ・未来技術の研究開発
- ・産学官共同による新技術の開発
- ・有望なベンチャー企業との連携
- ・研究スタッフの強化

● マーケティング力を強化

- ・売れる商品／サービスの創造
- ・マーケティングスタッフの強化



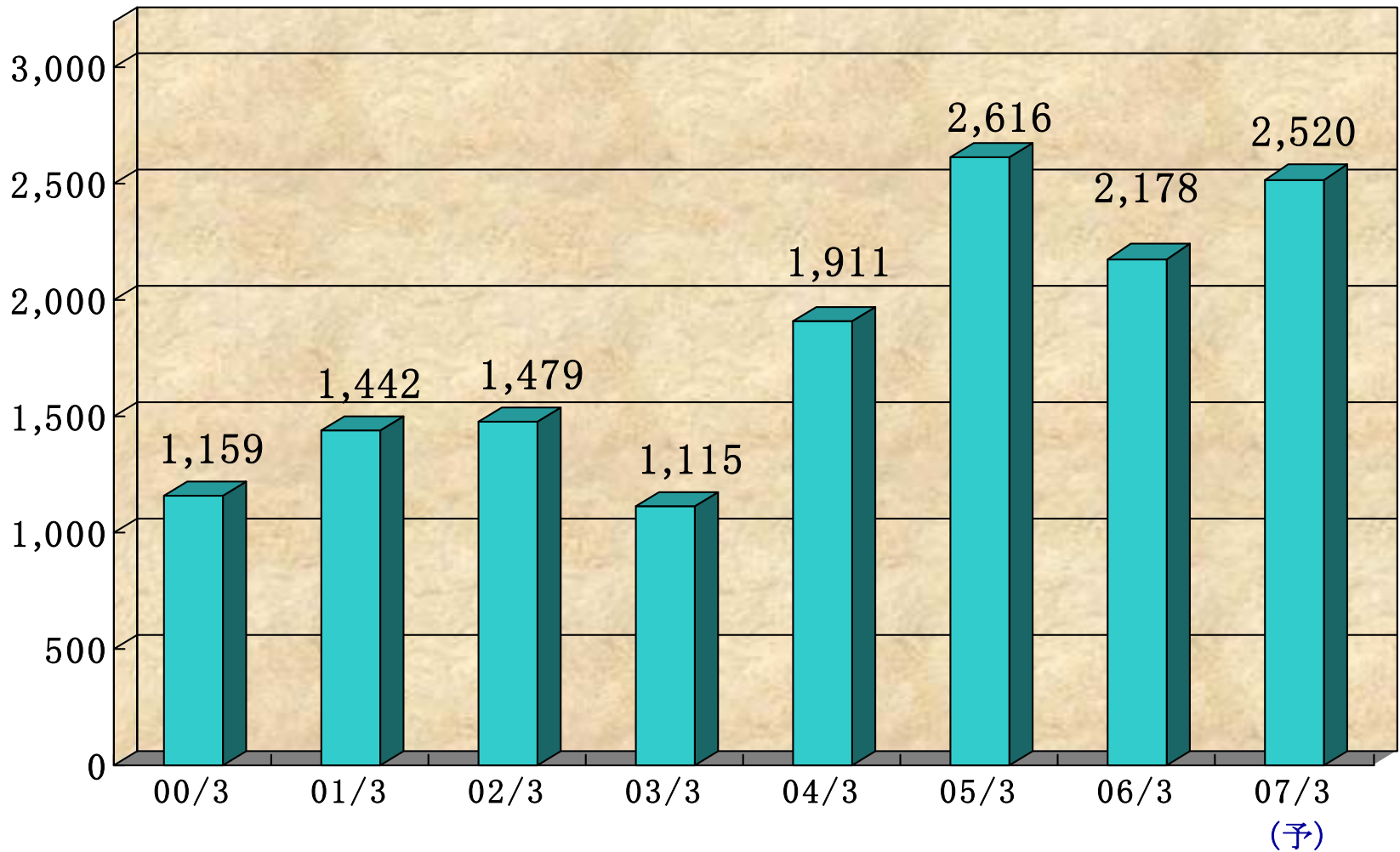
新規
ソリューション

新規
パッケージソフト

キーソリューション
創出

研究開発費の推移

(単位:百万円)



5. ソリューション事業の更なる推進

ソフトプロダクト・ソリューション「FSシリーズ」

セキュリティソリューション

 **FS Security**
Total Security Solutions

 **FS InfoGuard**
Desktop Security System

 **FS Gate**
Door Access Control

 **FS Ango**[®]

映像配信(高速ストリーミング)

 **FS Stream**
H.264 (MPEG4 AVC)

 **FS Watch**
Security Camera Solution

高速データ検索エンジン

 **FSSQL/SE**
Powered by "高度検索" Technology Search Edition

 **Web Super**

Embedded(組込)系テクノロジー

FS Embedded Solution

FS Embedded/Linux

FSKAREN

病院系ソリューション

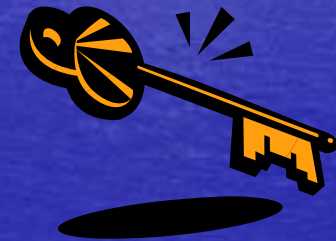
FS HosPack 経営

FS check navi

●重点ソリューションの進捗状況

S：セキュリティ

- ・ FSInfoguard (PCのセキュリティシステム)、FSGate (入退館システム)、FSWatch (監視カメラ) & データ倉庫で中小の警備会社とのアライアンス等も進め、主に金融機関や流通向けに拡販



A：映像配信（高速ストリーミング）

- ・ インフラ整備は、ほぼ完了
- ・ 企業とのアライアンスを進める
- ・ 著作権ビジネスに注力し拡大を目指す
- ・ Web使用のショッピングサイト強化も検討

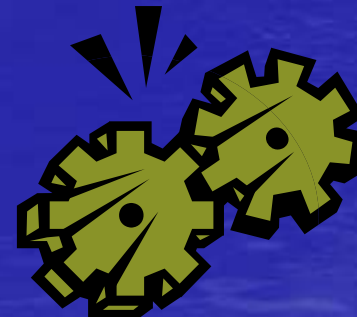
●重点ソリューションの進捗状況

K: 高速データ検索エンジン

- ・金融系・流通系・製造業系において需要拡大
- ・データ検索/集計BIツールでの価格競争力有り
- ・機能面での競争力の強化を図る

E: Embedded (組込系) テクノロジー

- ・FSKAREN®、FS Embedded Linux、
(チップテクノロジー) 組み込みソリューション
を本格展開
- ・産学官連携の強化を図る



●重点ソリューションの進捗状況

B: 病院系ソリューション

- ・有力病院グループと連携し、パッケージ商品「HosPack経営」の販売強化
- ・軟骨再生医療研究の寄付講座開催、産官学連携
パルスイムノテック社への出資等、医療研究開発分野へ投資を行い、現場への浸透を図る



R: リテール金融ソリューション

- ・貸金業規制法強化の動き→業界の合従連衡進展
- ・ソフト資産や業務ノウハウを持つ強みを活かし、
共同利用型業務システム開発に着手



●重点ソリューション事業 売上実績と今年度計画

単位：(百万円)

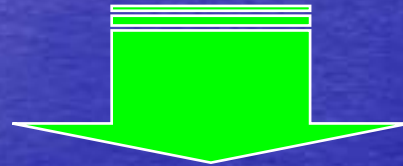
	07/3(予)	06/3	増減	前年比
S (セキュリティ)	600	280	320	214.3%
A (映像配信)	600	190	410	315.8%
K (高速検索エンジン)	300	270	30	111.1%
E (組込系)	500	160	340	312.5%
B (病院系)	500	200	300	250%
計	2.500	1.100	1.400	227.3%

5. 重点ソリューションの売上計画



あくなき挑戦とたゆまざる創造

ソフトの物づくりに
徹底的にこだわる



「ソフトウェアプロダクトメーカー」
「ソリューションベンダー」へと飛躍

ご清聴

ありがとうございました



※ 業績予想値・計画値については、発表日現在のデータに基づき作成したものであり、予想・計画につきましては、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想・計画値と異なる場合があります。